

《トスカ》のなかでもっとも有名なアリア。

曲のなかに激しくも切ないトスカの全人生が示され、数あるソプラノのアリアのなかでも屈指の名曲といわれています。

絶体絶命の窮地に陥ったトスカが、これまで深い信仰とともに芸術に生きてきたのに、なぜこのようなつらい運命をお与えになるのですか、と神に苦しい胸のうちを切々と訴えかけます。

Vissi d'arte, vissi d'amore 歌に生き 愛に生き
(Tosca) (トスカ)

ヴィッスイ ダルテ ヴィッスイ ダモーレ
Vissi d'arte, vissi d'amore, 歌に生き 愛に生き

ノン フェーチ マーイ マーレ アダーニマ ヴィーヴァ
non feci mai male ad anima viva! よこしまの道をあゆまず

コン マン フルティエーヴァ
Con man furtiva 悩む人の

クワンテ ミゼーリエ コノッピ アイウターイ
quante miserie conobbi, aiutai. 友とわれは呼ばれぬ

セムプレ コン フェ スィンチェーラ
Sempre con fe' sincera 天にいます神の

ラ ミーア プレギエーラ
la mia preghiera みさかえを

アイ サンティ タベルナーコリ サリィ
ai santi Tabernacoli sali, 朝夕にほぎまつり

セムプレ コン フェ スィンチェーラ
Sempre con fe' sincera みのり背かず

ディエーディ フィオーリ アッリ アルタル
diedi fiori agli altar. つかえまつるを

ネッローラ デル ドローレ
Nell'ora del dolore, もだえ苦しむ

ペルケエ ペルケエツ スィニョーレ
perche, perche Signore, 此の身をなどで

ペルケエム メ ネ リムーネリ コズィ
perche me ne remunerer cosi? 見棄てたまいし

ディエーディ ジョイエツリ
Diedi gioielli かずかずの

デッラ マドンナ アル マント
della Madonna al manto, 貴きたまや

エツ ディエーディ イル カント
e diedi il canto わがいのち

アッリ アストリ アル チェル
agli astri, al ciel, こめたる

ケン ネ リデーアン ピュウツ ベツリ
che ne ridean piu belli. 歌をみまえに

ネッローラ デル ドローレ
Nell'ora del dolore, まいらせしを

ペルケエ ペルケエツ スィニョーレ
perche, perche Signore, ああ などで神よ

ペルケエム メ ネ リムーネリ コズィ
Perche me ne remunerer cosi? ああ 見棄てたまいし神よ

《直訳》

わたしは歌に生き、恋に生き
人様に悪いことなど決してしませんでした！
貧しい人たちを知れば、
そっと手を差し伸べ みなお助けしました
いつでも心からの信仰こもる
わたしのお祈りは
ご聖像の壇にのぼり
いつでも心からの信仰こめて
祭壇に花を捧げました。
それを この苦しみのときに
なぜ なぜ 主よ
どうしてわたしにこのような報いをお与えになるのですか

わたしは聖母様のマントに宝石を捧げました
また星々に歌を捧げました
それで星々は天でいっそう美しく輝きました
それを この苦しみのときに
なぜ なぜ 主よ
どうしてわたしにこのような報いをお与えになるのですか